

ぶんきょう たね
文教の人のこころを種として
未来に向かい生き抜いていく

『ぶんたね』は
地域の子どもたちが気軽に立ち寄れる場所

家庭にも学校にもない

子どものための 第三の居場所 づくりを目指しています

友だちとの出会いや 大人たちとの交流を通し

人と関わる力を育み

課題を抱える子どもの成長を見守ります

送迎や宿泊など

個別のニーズにも取り組んでいきます

運営主体「東京ソテリア」について

こころの健康に問題を抱えたときにも安心して暮らせる社会の実現を目指し、2009年より東京・城東地区（葛飾/江戸川区）にて障害福祉サービスを開始。

地域に暮らす障害のある児童を取り巻く状況の複雑化・困難化を受け、学校および保護者等との連携のなかで、2015年に「こども発達支援チーム（現こども部）」を新たに設けました。現在進行している対児童の主な取り組みに、日中一時支援や短期入所（東京都新宿区）のほか、ひきこもり対策やヤングケアラー支援、母子保健に特化した看護、児童の舞台芸術など、多岐にわたっています。

2Fと3Fのご利用にあたって

- Step 1 お問い合わせ
電話やメールでご相談、お待ちしております
- Step 2 見学と面接
子ども自身と保護者の希望をうかがいながら
- Step 3 申込書類の提出
必要事項に記載していただき、受け入れを準備
- Step 4 ご利用スタート
ようこそ！ぶんたねへ



お問い合わせ

特定非営利活動法人 東京ソテリアこども部

☎ 03-3868-0373

✉ kodomo@soteria.jp →



ぶんたね

東京都文京区小石川 3-8-16



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

子ども
第三の
居場所

子ども第三の居場所



ぶんたね

こどもソテリア小石川



「子ども第三の居場所」では

子どもたちの生き抜く力を

地域の子どもたちが安心して過ごせる居場所。
スタッフや友だちと日々の時間を共有するなかで、
その子の生活リズム、学びへの意欲、一人ひとりの
生き抜く力を育みます。

みんなが、みんなの子どもを育てる社会を

子育ての負担や悩みを抱える家庭も多いことと思います。
ここでは家族を地域で支え、子育てを全力で応援します。

安心

「ここにいてもいい」
と感じてもらえるよう、
まずは、ありのままを
受け入れます。

食事

健康を支えるとともに
食の大切さ
みんなで食べる
楽しさを伝えます。

生活習慣

歯磨きや入浴などの
習慣を身につけ、
挨拶や大人との
関わり方を学びます。

体験

キャンプ、演劇、
動物ふれあいなどの
プログラムを通し、
自己肯定感を育みます。

学習

学校の宿題を見守ったり
わからないところを
遡ったりし、丁寧に
サポートします。

フロアのご案内

★ 3F 根づきの部屋 (ショートステイ)

OPEN 随時 (要予約)

- 安心して泊まれる場所
- 困難に直面している子どもたちをサポート

2F 芽ぶきの部屋 (日中の居場所)

OPEN 月・水・日の 11時～19時

- 栄養バランスのとれた食事 (昼・夕)
- 学齢にあわせた学びの指導

1F ぶんたねサロン

OPEN 月～土の 10時～18時

- 地域だれでも気軽に立ち寄れる「居間」として
- 赤ちゃんからお年寄りまで、多世代とのつながりを

対象となる子ども

未就学児～小中学生を中心に、家庭の状況や学校の環境
に課題をもつ子どもたちも受け入れています。
地域の方々や保護者の参加もお待ちしております。
※障がいの有無にかかわらず、誰もが参加することができます。

スタッフ

保健福祉の専門職 (2人)
学生ボランティア
地域のサポーター

専門プログラム

- 多様な機関との連携とアウトリーチ
- 身体介護をとまなう生活支援
- 不登校への対策としてのソーシャルワーク
- 保護者への子育ての相談

利用の料金について

食 事	子ども	無 料
	大人	300 円
遊具・教材		無 料
送 迎		無 料
宿 泊	お問い合わせください *文京区のみ (R5年4月現在)	

